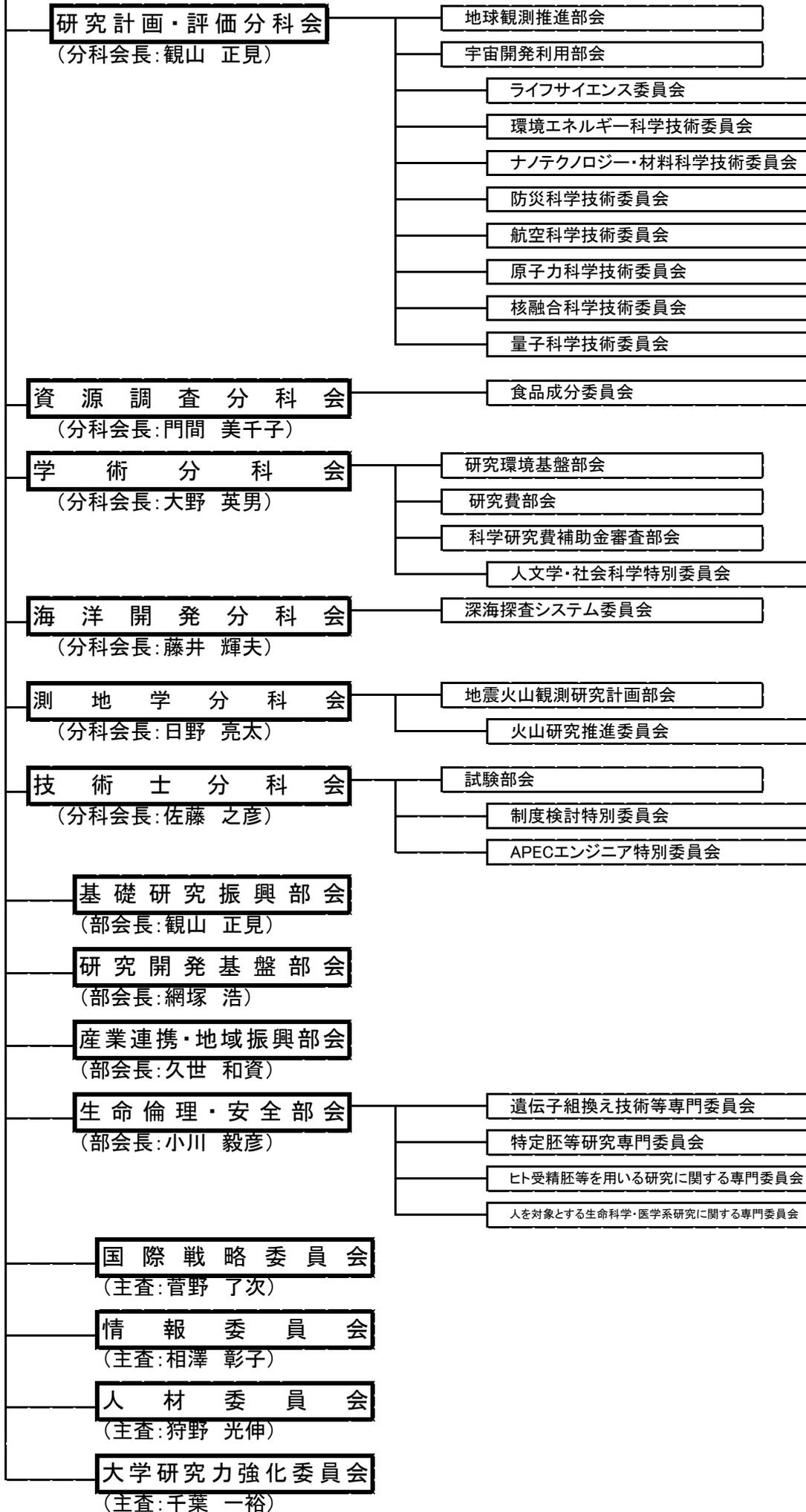


# 科学技術・学術審議会の構成について

## 科学技術・学術審議会 (会長:大野 英男)



(会長・分科会長等)

会議	会長等	会長代理等
科学技術・学術審議会	大野 英男	上田 輝久
研究計画・評価分科会	観山 正見	五十嵐 仁一
地球観測推進部会	村岡 裕由	原田 尚美
宇宙開発利用部会	村山 裕三	田中 明子
ライフサイエンス委員会	宮園 浩平	畠 賢一郎
環境エネルギー科学技術委員会	原澤 英夫	関根 泰、本郷 尚
ナノテクノロジー・材料科学技術委員会	高梨 弘毅	菅野 了次
防災科学技術委員会	上村 靖司	小室 広佐子
航空科学技術委員会	土屋 武司	山岡 建夫
原子力科学技術委員会	出光 一哉	石川 顕一
核融合科学技術委員会	上田 良夫	大野 哲靖
量子科学技術委員会	大森 賢治	山田 真治
資源調査分科会	門間 美千子	白波瀬 佐和子
食品成分委員会	門間 美千子	瀧本 秀美
学術分科会	大野 英男	白波瀬 佐和子
研究環境基盤部会	観山 正見	勝 悦子
研究費部会	白波瀬 佐和子	鷹野 景子
科学研究費補助金審査部会	※	※
人文学・社会科学特別委員会	城山 英明	大橋 弘
海洋開発分科会	藤井 輝夫	日野 亮太
深海探査システム委員会	松本 さゆり	-
測地学分科会	日野 亮太	田中 明子
地震火山観測研究計画部会	日野 亮太	田中 明子
火山研究推進委員会	橋本 武志	藤田 英輔
技術士分科会	佐藤 之彦	寺井 和弘
試験部会	佐藤 之彦	寺井 和弘
制度検討特別委員会	佐藤 之彦	黒崎 靖介
APECエンジニア特別委員会	(未定)	(未定)
基礎研究振興部会	観山 正見	佐伯 修
研究開発基盤部会	網塚 浩	高橋 祥子
産業連携・地域振興部会	久世 和資	栗原 美津枝
生命倫理・安全部会	小川 毅彦	金井 正美
遺伝子組換え技術等専門委員会	三浦 竜一	金井 正美、片山 和彦
特定胚等研究専門委員会	三浦 竜一	神里 彩子
ヒト受精胚等を用いる研究に関する専門委員会	久慈 直昭	大須賀 穰
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する専門委員会	(未定)	(未定)
国際戦略委員会	菅野 了次	狩野 光伸
情報委員会	相澤 彰子	尾上 孝雄
人材委員会	狩野 光伸	岩崎 渉
大学研究力強化委員会	千葉 一裕	梶原 ゆみ子

※審査に係るため非公表

第12期科学技術・学術審議会の各分科会等における審議状況

分科会等名	主な審議事項・報告等	開催状況
総会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第12期の活動について</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なし</li> </ul>	第12期開催実績：1回
研究計画・評価分科会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究開発課題の評価について</li> <li>○ 分野別研究開発プログラム評価の試行について</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なし</li> </ul>	第12期開催実績：6回
資源調査分科会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本食品標準成分表（八訂）増補2023年について</li> <li>○ 第12期資源調査分科会の検討課題について</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本食品標準成分表（八訂）増補2023年（令和5年4月28日）</li> </ul>	第12期開催実績：1回
学術分科会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学術研究の振興方策について</li> <li>○ 科研費制度の改善・充実方策について</li> <li>○ 全国的な観点からの学術研究基盤の整備について</li> <li>○ 人文学・社会科学の振興方策について</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中規模研究設備の整備等に関する論点整理（令和5年6月27日 研究環境基盤部会）</li> <li>○ 人文学・社会科学の振興に向けた当面の施策の方向性について（令和5年8月30日 人文学・社会科学特別委員会）</li> </ul>	第12期開催実績：2回
海洋開発分科会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第12期海洋開発分科会の検討事項について</li> <li>○ 深海探査システムの在り方について</li> <li>○ 北極域研究加速プロジェクトに関する中間評価</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なし</li> </ul>	第12期開催実績：2回
測地学分科会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地震火山観測研究計画の進捗管理</li> <li>○ 次期観測研究計画の検討</li> <li>○ 火山観測研究の推進</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なし</li> </ul>	第12期開催実績：3回
技術士分科会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 技術士資格の国際的な実質的同等性の確保</li> <li>○ 技術士試験の適正化</li> <li>○ 技術士補制度の見直し・IPD 制度の整備・充実</li> <li>○ 更新制・継続研さんの導入</li> <li>○ 総合技術監理部門の位置付けの明確化</li> <li>○ 技術士制度の活用促進・普及拡大</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なし</li> </ul>	第12期開催実績：1回

分科会等名	主な審議事項・報告等	開催状況
基礎研究振興部会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生成AIに関する研究開発の方向性について</li> <li>○ 「創発的研究支援事業」研究機関による研究環境改善の取組&lt;好事例&gt;</li> <li>○ 基礎科学の推進に向けた今後の課題について～世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)を例に～</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なし</li> </ul>	第12期開催実績：3回
研究開発基盤部会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 先端研究施設・設備・機器の整備・共用について</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なし</li> </ul>	第12期開催実績：5回
産業連携・地域振興部会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 産業連携・地域振興部会長の選任及び部会長代理の指名について</li> <li>○ 産業連携・地域振興部会の運営規則について</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なし</li> </ul>	第12期開催実績：1回
生命倫理・安全部会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ CSTI第三次報告を踏まえたヒト胚関係指針の見直しについて</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なし</li> </ul>	第12期開催実績：2回
国際戦略委員会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第12期国際戦略委員会運営規則等について</li> <li>○ 国際的な科学技術・イノベーション活動の現状について</li> <li>○ ASEANとの科学技術協力強化に関する事前評価</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なし</li> </ul>	第12期開催実績：2回
情報委員会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情科学技術の推進方策に関する検討</li> <li>○ オープンサイエンスの推進に向けた学術情報基盤の在り方に関する検討</li> <li>○ 本委員会の所掌に属する課題の評価</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ オープンサイエンスの推進について（一次まとめ）</li> </ul>	第12期開催実績：4回
人材委員会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 産業界における博士人材の活躍について（有識者からのヒアリング）</li> <li>○ 研究者・教員等の流動性・安定性に関するワーキング・グループの設置について</li> <li>○ 研究開発イノベーションの創出に関わるマネジメント業務・人材に係るワーキング・グループの設置について</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なし</li> </ul>	第12期開催実績：4回
大学研究力強化委員会	<p>【主な審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国際卓越研究大学の認定等に関する審査の進捗確認等について</li> <li>○ 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業の公募・採択の進捗確認等について</li> <li>○ 大学の研究力強化を図るための多様な研究大学群の形成に向けた方策について</li> </ul> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なし</li> </ul>	第12期開催実績：3回

## 第12期科学技術・学術審議会各分科会等における活動について

科学技術基本法改正や第6期科学技術・イノベーション基本計画を踏まえ、第12期科学技術・学術審議会各分科会等において、取り組む活動は以下のとおり。

### ○研究計画・評価分科会

- ・第6期科学技術・イノベーション基本計画等を踏まえて、文科省として行うべき研究及び開発の計画等について、分科会下等の委員会との連携をとり審議を進める。
- ・上記計画等の下で文科省として推進する「研究開発課題」については、事前・中間・事後評価を行う。
- ・また、前期に試行した研究開発プログラム評価の在り方について、引き続き、審議を行う。
- ・なお、計画等の審議や評価を行うに当たっては、「総合知」の創出・活用に向けた取組の観点が適切に含まれていることを意識する。

### ○資源調査分科会

- ・第6期科学技術・イノベーション基本計画で求められる「知」の創造に資するため、資源の総合的利用に関する栄養成分の基礎的データ集として「日本食品標準成分表」を位置づける。
- ・日本食品標準成分表の充実・利活用を含めたあり方の検討にあたっては、食品成分委員会を設置し、次期改定方針やあり方に加え、①収載食品の更新・充実、②デジタル社会での多様な利用を見据えた食品成分データの利活用推進方策の検討と精度・信頼性の向上、③国内外動向調査を行う。
- ・特に、オープンデータの意義等を踏まえた食品成分データとするため、一般成分の決定手順や各段階での様式のシステム化など必要な検討を行う。

## ○学術分科会

- ・「総合知」の創出・活用等を念頭に、各部会及び関係審議会等と必要な連携を図りながら、以下についての議論等を進め、学術の振興方策について引き続き調査・審議を実施予定。
- ・学術研究の進展や国際的な研究動向に応じた、全国的観点から推進すべき学術研究基盤の整備（令和5年6月に「中規模研究設備の整備等に関する論点整理」を取りまとめ）、共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点の評価及び新規認定、大型プロジェクトの進捗管理及び次期ロードマップの策定等に関する検討を実施。
- ・科学研究費助成事業（科研費）において、若手・子育て世代の研究者への支援や基盤研究の助成の在り方を含む研究費の枠組みの検討、持続可能な審査システム等について、審議・議論を実施。
- ・人文学・社会科学の振興に向け、人文学・社会科学が主体の「共創型」プロジェクト研究の推進や、研究DXに向けた基盤開発・整備、我が国の人文学・社会科学の研究動向に係るモニタリング指標の開発等（令和5年8月に「人文学・社会科学の振興に向けた当面の施策の方向性について」を取りまとめ）について、引き続き調査・議論を実施。

## ○海洋開発分科会

- ・持続可能な開発のための国連海洋科学の10年（2021-2030）、第6期科学技術・イノベーション基本計画等に加え、令和5年4月に策定された第4期海洋基本計画を踏まえつつ、深海探査システム等の海洋科学技術の在り方や推進方策について、総合知の創出・活用等の観点も念頭に置きながら検討を行う。
- ・文部科学省として推進する海洋科学技術等に関する研究開発課題について、引き続き、事前・中間・事後評価を行う。（令和5年度においては、「海洋情報把握技術開発事業」の事後評価を行う予定。）

## ○測地学分科会

- ・第6期科学技術・イノベーション基本計画等を踏まえて、引き続き、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）」の推進及び進捗管理を行う。
- ・上記基本計画を踏まえて、次期地震火山観測研究計画の策定に向けた検討を行う。
- ・火山の観測研究体制について、その高度化と最適化を図る観点から「次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト」及び「火山機動観測実証研究事業」のフォローアップを行う。
- ・なお、上記の検討やフォローアップを行うに当たっては、「総合知」の活用や社会実装に向けた取組を含む、地震・火山災害に対するレジリエントで安全・安心な社会の構築を目指す様々な取組の観点が適切に含まれていることを意識する。

## ○技術士分科会

技術士資格の国際的通用性の確保の観点を十分に加味した上で、主に以下の検討を進める。

- ・技術士第一次試験の適正化等について
- ・技術士補制度における指導技術士について
- ・IPDを通じた資質能力開発支援を達成するためのロードマップ作成及びコミュニティ形成について
- ・技術士の権利義務に係る更新制の導入や資格活用促進を視野にいたしたCPD活動の促進について

## ○基礎研究振興部会

### 1. 基礎研究の振興について

我が国の基礎研究を10～20年先を見据えた視座から発展させるために、基礎研究の振興に資する内容(例：戦略的創造研究推進事業、創発的研究支援事業、世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)、数学・数理科学等)を幅広く取り扱い、審議を行う。

### 2. 基礎研究の更なる発展に向けた研究DXの推進について

基礎研究に求められる役割・機能の変容し、その重要性が増大するなか、研究の取り組み方についても変革が求められている。新たな価値創造を目指した、デジタル技術とデータ活用による研究活動の変革(研究デジタルトランスフォーメーション(研究DX))に関する内容(例：生成AIの研究開発の方向性について)の審議を行う。

### 3. 基礎研究の社会的意義・価値について

基礎科学の知的アセットを適切に価値化して、より良い社会の実現に向け、社会との間で好循環を形成することが必要となる。基礎研究の共通認識(基礎研究の役割、国内外の動向等)を確認し、基礎研究の社会的意義・価値及びそれらを適切に評価するための方策について、審議を行う。

## ○研究開発基盤部会

- ・第6期科学技術・イノベーション基本計画等を踏まえ、先端的な研究施設・設備等の研究基盤の整備・高度化・利用や、研究設備・機器に資する基盤技術などの複数領域に横断的に活用可能な科学技術に関する事項に係る審議を進める。
- ・その際、文科省が進める「先端研究基盤共用促進事業」の実施状況や、研究設備・機器の共用化のためのガイドラインの浸透状況の確認を踏まえた上で、事業の推進方策に関する検討を行う。
- ・さらに、採択機関が行う研究設備・機器の共用に関する先進的な取組の展開を進める。

## ○産業連携・地域振興部会

- ・第6期科学技術・イノベーション基本計画等を踏まえて、文部科学省として行うべき研究開発成果の普及・活用の促進をはじめとする産学官連携の推進や地域が行う科学技術の振興に対する支援に関する重要事項について審議を行う。
- ・スタートアップ・エコシステム拠点都市における起業支援活動やアントレプレナーシップ教育等の進捗状況を踏まえ、大学発スタートアップ創出やアントレプレナーシップ教育等の取組の推進方策について、検討を行う。
- ・地域中核・特色ある研究大学の振興に関する政府での検討状況等を踏まえつつ、大学等を中核とした産学官連携拠点や、産学共同研究の施策の推進方策について、検討を行う。

## ○生命倫理・安全部会

- ・総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）第三次報告において、これまで既存の受精胚の活用を認められていた以下の研究について、研究のために新たに受精させることを容認することとされたことを踏まえ、関係指針の見直しを検討。
  - （1）ゲノム編集技術等を用いた遺伝性・先天性疾患に関する基礎的研究
  - （2）核置換技術を用いたミトコンドリア病に関する基礎的研究
- ・このほか、ライフサイエンスにおける生命倫理及び安全の確保に関する動向等を踏まえた調査・検討を適時実施。

## ○国際戦略委員会

- ・ 科学技術の国際展開に関する戦略等を踏まえた、文部科学省における取組状況等を確認した上で、今後我が国が取り組むべき国際的な科学技術・イノベーション活動について議論を行った。今後、より具体的な論点を絞り込んだ上で、国際頭脳循環の推進や国際共同研究の拡大等といった科学技術の国際展開について、次期科学技術・イノベーション基本計画も念頭にしつつ、引き続き審議を行う。
- ・ 新たに日 ASEAN 間の研究協力関係を強化するための「日 ASEAN 科学技術・イノベーション協働連携（新規）」（令和 6 年度要求）に係る事前評価を令和 5 年 8 月に実施した。

## ○情報委員会

- ・ 科学技術及び学術の振興を図るため、AI をはじめとする情報分野の研究開発力の強化やオープンサイエンスの推進のために必要な方策等について、幅広い観点から調査検討を行う。
- ・ また、本委員会の所掌に属する課題の事前・中間・事後評価を行う。
- ・ なお、上記の議論や評価を行うに当たっては、「総合知」の創出・活用に留意する。
- ・ 令和 5 年 4 月から 12 月にかけては、オープンサイエンスに関する動向を踏まえ、今後オープンサイエンスの推進のために取り組むべき事項等についてとりまとめた。

## ○人材委員会

第6期科学技術・イノベーション基本計画等を踏まえて、科学技術・イノベーション人材の育成・確保策について、審議を進める。

具体的には以下について、若手研究者や大学、企業等に対するヒアリングを実施しつつ検討する。

- ・ 博士後期課程学生への経済的支援の充実とキャリアパスの多様化について
- ・ 産業界における博士人材の活躍推進について

また、労働契約法の無期転換ルールの特例が施行されて10年が経過したことや、大学・研究機関における研究開発マネジメント業務が一層多様化・高度化していることを踏まえ、以下については委員会の下部にWGを設置し、より専門的に議論を行う予定である。

- ・ 研究人材の流動性と安定性の両立について
- ・ URA 等の研究開発マネジメント人材や技術職員の育成・確保について

## ○大学研究力強化委員会

- ・ 大学等の研究力強化を図るため、国際卓越研究大学制度や地域中核・特色ある研究大学の振興など、多様な研究大学群の形成に関して、幅広い観点から調査検討を行う。(具体的には、国際卓越研究大学の認定等に関する審査の進捗確認等、地域中核・特色ある研究大学強化促進事業の公募・採択の進捗確認等、大学の研究力強化を図るための多様な研究大学群の形成に向けた方策等について検討を行う。)